

ブラジル大統領選挙と経済見通し・トピック

2022年8月
在ブラジル日本国大使館

2022年

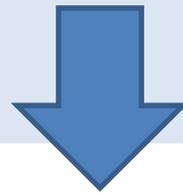
- 4月 1日: 候補者の入党期日(※出馬する者は、いずれかの政党に所属する必要あり)
- 4月 2日: 現職の大統領、閣僚、知事、市長等が出馬する場合、再選を目指す場合を除き、要辞任
- 7月20日～8月5日: 党大会期間(各党は候補者を指名)
- 8月15日: 候補者登録申請の期日
- 8月16日～10月 1日: 選挙キャンペーン期間
- 8月26日～ 9月29日: 政見放送(TV、ラジオ)期間
- 9月12日: 選挙裁判所による候補者登録申請の審理終了

10月 2日: 投票日

【決選投票に進む場合】※候補者の得票が過半数に至らなかった大統領選・知事選のみ。

- 10月 3日: 選挙キャンペーン開始
- 10月 7日: 政見放送(TV、ラジオ)開始
- 10月28日: 政見放送、TV・ラジオ討論会の最終日
- 10月29日: 選挙運動の最終日

10月30日: 決選投票日



2023年1月1日: 新大統領・新知事の就任
2023年2月2日: 連邦議会の新会期開始

2022年10月に実施される選挙の種類

①大統領選挙

- 大統領と副大統領が同一リストで同時選出。
- 第一回投票(10月最初の日曜日)で、いずれの候補も過半数に満たない場合、決選投票へ(10月最後の日曜日)。
- 2022年大統領選挙には、12名の大統領候補(及び同数の副大統領候補)が出馬。
- 任期は4年(再選は1回のみ可能)。

②上院議員選挙

- 26州及び連邦直轄区(DF)から、各1名選出(有権者は、政党ないし政党連合にかかわらず、候補者2名まで投票可)。
- 2022年選挙では、全議席81のうち27議席(1/3)が改選対象。(2018年選挙で54議席(2/3)が改選)。計235人が立候補申請。
- 任期は8年。

③下院議員選挙

- 比例代表制:非拘束名簿式
- 26州及びDFから計513名選出。各州の選出数は人口比例(最多70:サンパウロ州。最少8:アクレ州、ロライマ州等)
- 2022年選挙には計10,277人が立候補申請(現職の日系議員2名は出馬)。
- 任期は4年。

④州知事選挙

- 26州及びDFで、それぞれ知事と副知事が同一リストで同時選出される。
- 第一回投票(で、いずれの候補も過半数に満たない場合、決選投票へ)。
- 2022年知事選には、計223人が立候補申請(例:DF知事選では、12人が出馬)。
- 任期は4年。

⑤州議会議員選挙

- 26州及びDFで、計1,035名選出。各州議会の議席数は州の規模によって異なる。
- 2022年州議会議員選挙には、計16,241人が立候補申請(例:DF議会議員選挙では、24議席に対して約591人が出馬)。
- 任期は4年。

【参考】

(1) 今次選挙の有権者数は約1億5千600万人(52%が女性)。投票権は16歳以上が所持。18歳~70歳が義務投票。

(2) 全選挙の立候補申請数は合計28,288(2018年は28,125)。主要政党では、PLが1578で最多、PTは1,125。

(3) 候補者の約33%割が女性(過去最高)。年齢層では40代~50代が最多。人種別では、黒人・混血が49.57%、白人が48.86%と初めて黒人候補者が白人を上回った。日系を含むアジア人候補は約0.4%。

(4) 2021年選挙制度見直しによる今次選挙における主な変更点

・フェイクニュース対策(虚偽の情報を意図的に流布させた者は、1~4年間の禁固刑、虚偽に基づくネガティブキャンペーンへの罰則)

・政党連立(Federação Partidária)を伯の選挙史上初めて導入。これは、選挙期間における政党協力(Coligação Partidária)とは異なるもので、連立政党間で比例票の融通が可能になる他、最低投票数等の政党要件を連立政党で満たすことが可能になるもの。但し、その選挙により選出された期間中(最低4年間)は連立を解消することができない(解消する場合は、今後政党助成金の受け取りが不可となる等のペナルティあり)。現在登録されている、政党連立は3つ(①PT・PV・PCB、②PSOL、REDE、③PSDB、CIDADANIA)。

ルーラ元大統領(76)



- ・ペルナンブーコ州出身、労働者党(PT)
 - ・第35代大統領(2003年-2011年)
 - ・大統領退任後、複数の汚職容疑により起訴され、2018年大統領選は国内法により出馬不可に
 - ・2021年4月、最高裁が上記有罪判決の無効化を決定し、政治的権利を回復。
 - ・2021年11月以降、仏独西や墨を訪問
 - ・労働者党(PT)、伯社会党(PSB)を含む左派9党の政党連合が擁立
- 副大統領候補はアルキミン元サンパウロ州知事(PSB)

ボルソナーロ大統領(67)



- ・サンパウロ州出身、自由党(PL)
- ・2018年大統領選では国民の政治不信の受け皿
- ・コロナ禍でも、各種構造改革、対外経済開放推進姿勢
- ・2021年初より政府のコロナ対策への不満、物価高騰等により、支持率低下傾向だったが、3月末より好転、ルーラとの差も徐々に縮小している。
- ・自由党(PL)、進歩党(PP)、共和党(Republicanos)の政党連合が擁立。
- ・副大統領候補は軍人のブラガ・ネット前国防相

シロ・ゴメス元財務相(64)



- ・サンパウロ州出身、民主労働党(PDT)
- ・フォルタレーザ市長、セアラ州知事を経てカルドーゾ政権で財務相、ルーラ政権時で国家統合相歴任
- ・過去3度(1998年、2002年、2018年)大統領選に出馬
- ・PDTが単独で擁立。
- ・副大統領候補はアナ・パウラ・マツス・サルバドール副市長

テベチ上院議員(52)



- ・マツグロツソ・ド・スール州出身
- ・ブラジル民主運動党(MDB)
- ・女性として初めて上院憲法司法市民権委員会委員長を務める
- ・MDB、伯社会民主党(PSDB)、市民党(Cidadania)、民主倫理党(PODEMOS)の政党連合が擁立。
- ・副大統領候補には、ガブリーリ上院議員(PSDB)。

その他候補者

- ソラヤ・トロニケ上院議員 : ブラジル・ユニオン党(União)
- フェリペ・ダーヴィラ氏 : ノヴォ党(Novo)
- ソフィア・マンサーノ氏 : 伯共産党(PCB)
- ベラ・ルーシア氏 : 統一労働者社会党(PSTU)
- レオ・ベリクレス氏 : 人民統一党(UP)
- ロベルト・ジェフェルソン元下院議員 : 伯労働党(PTB)
- ジョゼ・マリア・エイマール氏 : キリスト教民主党(DC)
- パブロ・マルサル氏 : 社会秩序共和党(PROSP) ※PROSPは同氏の立候補を取下げ係争中

世論調査の結果

【IPESPE社 (7/25)】

【Datafolha社 (8/18)】

1 ルーラ (45%)

1 ルーラ (47%)

2 ボルソナーロ (34%)

2 ボルソナーロ (32%)

3 シロ・ゴメス (9%)

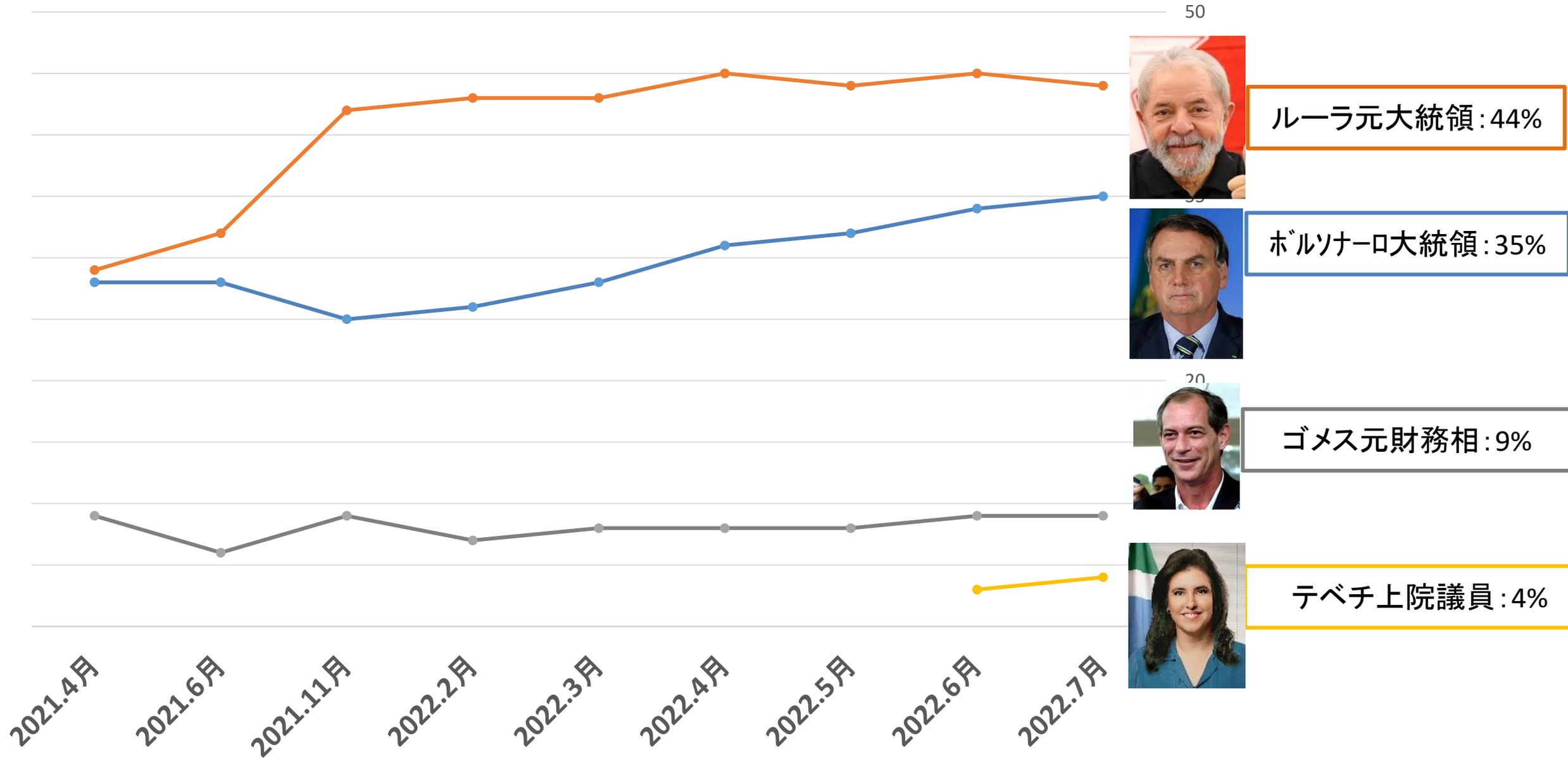
3 シロ・ゴメス (7%)

4 テベッチ (4%)

4 テベッチ (2%)

2022年ブラジル大統領選候補者支持率の推移

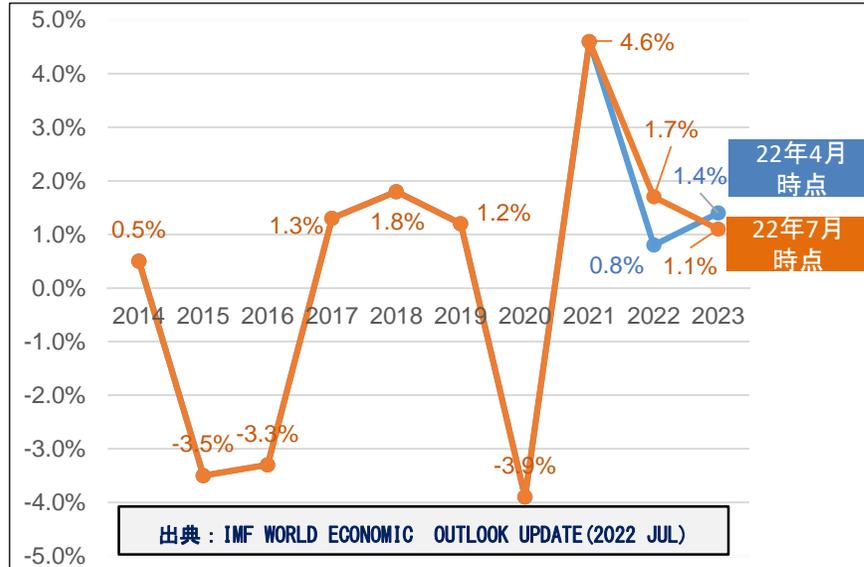
2022年7月在伯大



出所: XP/Ipespe
誤差の範囲2.2%

主要経済指標の状況

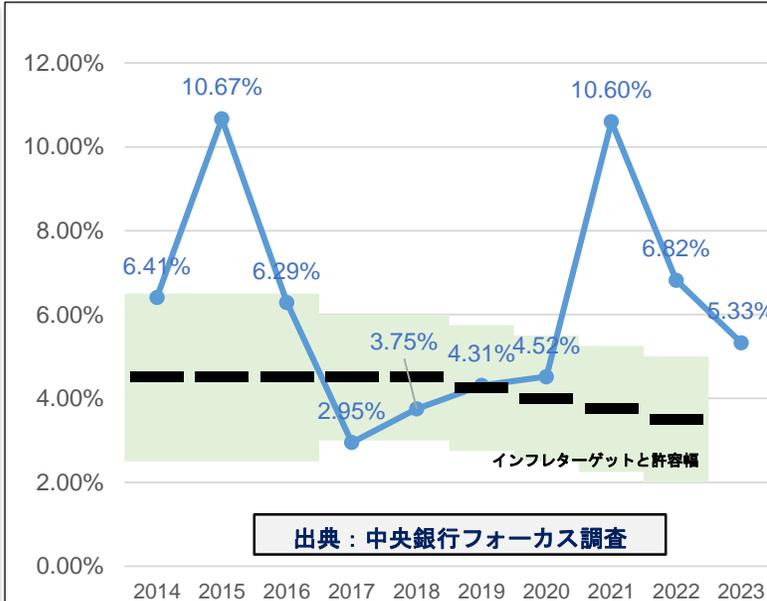
■ GDP(実質)成長率



<参考>中央銀行フォーカス調査における直近の推移

	22年	23年
7月1日時点	1.51%↑	0.50%↓
7月29日時点	1.97%↑	0.40%↓
8月19日時点	2.02%↑	0.39%↓

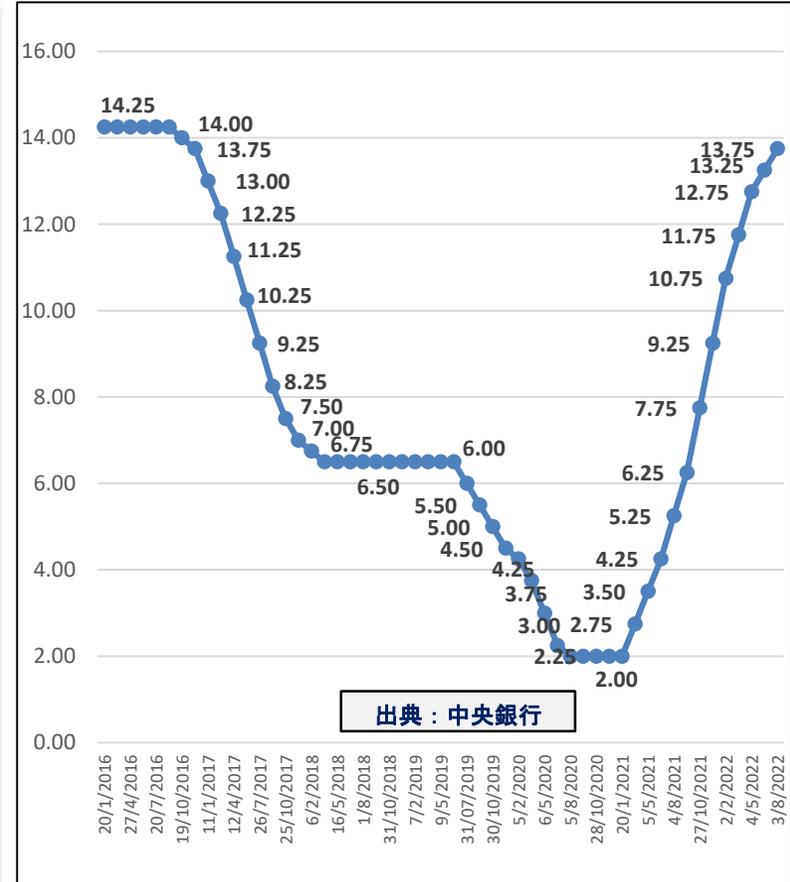
■ 拡大消費者物価指数(IPCA)上昇率



<参考>中央銀行フォーカス調査における直近の推移

	22年	23年
7月1日	7.96%↓	5.01%↑
7月29日	7.15%↓	5.33%↑
8月19日	6.82%↓	5.33%→

■ 政策金利(Selic)の推移



■ 各指標の状況

【GDP成長率】IMFは7月、22年のブラジルのGDP成長予測を上方修正(0.8%→1.7%)、一方で23年は0.3%の下方修正(1.4%→1.1%)。

7月以降の中銀のフォーカス調査においても傾向は同様。

【インフレ率】ICMS(商品・サービス流通税)のカットもあり、22年は拡大消費者物価指数(IPCA)が下落するも、中央銀行のインフレ目標に対しては依然許容幅を上回る。

【政策金利(Selic)】インフレ圧力抑制の為の金融引き締め政策の一環として、21年3月から12回連続で上昇、16年末の水準に達する。

一方で引き上げサイクルは9月の次回会合で終焉に向かうとの見方もあり。